

CONVENTION REPORT

コンベンションレポート

第24回全日本古希軟式野球大会

平成26年10月17日～21日に倉吉市・三朝町・湯梨浜町・北栄町・琴浦町の各野球場に於いて、全国北は北海道から南は大分までの七十歳以上で構成する56チーム1,200人の選手を迎え、第二十四回全日本古希軟式野球大会を開催しました。

平成十五年に全日本選抜還暦軟式野球大会を全国から六十歳以上で構成する38チームで開催。平成二十年には、第三回中・四国還暦軟式野球大会、平成二十二年は、第二十四回西日本還暦軟式野球大会を開催してきました。

還暦の全国大会は、三十年前に開催し、今年30回大会が開催されました。

古希大会は、第1回から参加した選手から、70歳に成ってもまだまだ野球がやりたいと言う声の広がり、第1回大会が平成3年弘前市で開催され、第24回の開催を鳥取県中部の1市4町で開催することになりました。3年前、全選連に開催を申し入れをし、内定を戴き、準備に入りました。

平井伸治鳥取県知事をはじめ、石田耕太郎倉吉市長・吉田秀光三朝町長・宮脇正道湯梨浜町長・松本昭夫北栄町長・山下一郎琴浦町長には、大会誘致にご理解をいただき、昨年10月から本格的な準備に入りました。

10月17日の開会式には、知事代理の森谷邦彦様(鳥取県文化観光スポーツ局長)から知事の祝辞を頂き、石田耕太郎倉吉市長からは、歓迎の挨拶をいただきました。

選手宣誓は、地元倉吉ニューファイトズの児島三郎主将が、全参加チームの主将が掲げるチーム旗に囲まれた中で力強い宣誓を行いました。

歓迎のアトラクションでは、西倉吉・向山・みのり保育園の可愛い園児の踊り、打吹童子ばやしの小学生の太鼓演奏で開会式を盛り上げてくれました。

18日から7会場で、熱戦が繰り広がり、最終日には阪神ロイヤルズ(兵庫)と宮城イーグルスKCが、優勝を争いました。両チームの選手は4日間5試合の疲れも見せず優勝戦にふさわしい1点を争う大接戦となり7対6で阪神ロイヤルズが優勝(2連覇)し、天候に恵まれ事故もなく、大成功のうちに閉幕しました。

参加したチームの選手の方から、大会運営のすばらしさ、市民の人情味豊かな触れ合いに感謝の言葉をたくさん頂き、役員一同喜んでます。

主管 鳥取県還暦軟式野球連盟
会長 桑本 圭二

開催日 平成26年10月17日～21日
会場 倉吉市営野球場・倉吉市営関金野球場
三朝町町営三朝球場
湯梨浜町東郷運動公園野球場
北栄町大栄野球場・北栄町北条野球場
琴浦町東伯総合公園野球場



第19回 全日本女子相撲 選手権大会

平成26年10月26日に米子市にある鳥取県立武道館にて、第19回全日本女子相撲選手権大会、第11回全日本中学生女子相撲大会、第17回全日本女子小学生相撲大会が開催されました。

小学生から社会人まで総勢158人の選手が参加し、熱戦が繰り広げられました。

地元出身選手では上田幸佳選手(東伯町出身、日本大学)が、無差別級5連覇を達成。

中学生軽量級で松本渚選手(北浜中)が初優勝しました。